



ハープで紡ぐ歌、 海を越えて

バロックハープとリードオルガンの柔らかな音色にのせて贈る、
時空を超えた音楽の旅。
ヒストリカルハープの名医・西山まりえが、
日本オペラ界の至宝一人と共に描く、
抒情溢れるコンサートシリーズ。
ヨーロッパの薫りと日本の情景が、今、一つに溶け合う。

第1回: ^{さくら だ まこと} 櫻田 亮 (テノール)

2026 **5 | 10** (日)

13:00開演 (12:30開場) / 16:00開演 (15:30開場)

*各回70分間 休憩なし

天上の響き、至高のテノール。
櫻田亮の清冽な歌声と西山まりえの奏でる豎琴が、
古のイタリアと日本の調べを鮮やかに蘇らせる。

<演奏曲目>

- G. カッチーニ: 麗しのアマリッリ / 帰っておくれ
- C. モンテヴェルディ: かつてあなたは私のものだった
- さくら横ちょう (加藤周一 / 中田喜直)
- からたちの花 (北原白秋 / 山田耕筰)
- 平城山 (北見志保子 / 平井康三郎)
- ほか

第2回: ^{か く とおる} 加来 徹 (バリトン)

2026 **10 | 17** (土)

13:00開演 (12:30開場) / 16:00開演 (15:30開場)

*各回70分間 休憩なし

深く、熱く、甘美に。加来徹が紡ぎ出す情念の調べ。
艶やかに彩られるイタリアの愛と深き祈り、
そして竹久夢二の世界に潜む、女の涙と深淵。

<演奏曲目>

- C. モンテヴェルディ: 苦しみはかくも甘く
- G. F. サンチェス: 悲しみの聖母
- G. フレスコバルディ: このように私を蔑むのか
- 宵待草 (竹久夢二 / 多忠亮)
- 別れし宵 (竹久夢二 / 本居長世)
- なみだ (竹久夢二 / 山田耕筰)
- ほか

今井館聖書講堂 (駒込)

主催: ムジカキアラ 後援: 日本ハープ協会

自由席・税込: 一般 ¥5,500 学生 ¥3,000 第1回 & 第2回通し券 ¥10,000 ※ムジカキアラでのみ取扱い
※学生券の対象は小学生~大学院生(25歳以下)とさせていただきます。※未就学児のご入場はご遠慮ください。

チケット取扱い

● イープラス



● ぴあ

Pコード:
(5/10) 323-269
(10/17) 323-270



ご予約・お問合せ: ムジカキアラ
Tel. 03-6431-8186 (平日10:00-18:00)
E-mail info@musicachiar.com

海を越え、時代を紡ぐ

西山まりえの豎琴と二人の至宝が誘う、イタリアと日本の情景



西山まりえ (バロックハープ、リードオルガン)

Marie Nishiyama, Baroqu Harp & Reed Organ

チェンバロとヒストリカル・ハープ 2 種の古楽器を自在に操る希有なプレーヤーとして世界的に知られ、数多くのコンサート、音楽祭や録音に参加。ルネ・ヤコプス、カルロス・ヌニェス、ミカラ・ペトリ、山下洋輔、藤原道山、森山開次など幅広いジャンルのアーティストと共演。国内外レーベルでの録音はその多くが「レコード芸術」誌特選盤や朝日新聞推薦盤、毎日新聞特選盤に選ばれるなど高く評価されている。東京音楽大学ピアノ科卒業、同大学研究科修了後、ミラノ市立音楽院、バーゼル・スコラ・カントールムに留学。第 11 回山梨古楽コンクール・チェンバロ部門第 1 位 (第 23 回同コンクール審査員) および栃木 [蔵の街] 音楽祭賞受賞。古楽ワークショップ「信州アーリーミュージック村音楽祭」芸術監督。桐朋学園大学音楽学部古楽器専攻および武蔵野音楽大学、非常勤講師。日本ハープ協会理事。

櫻田 亮 (テノール) Makoto Sakurada, Tenor

東京藝術大学卒業。同大学院音楽研究科修士課程修了。イタリア国立ボローニャ音楽院に留学。イタリア各地でモンテヴェルディ「ウリッセの祖国への帰還」に出演した他、'07 年のモンテヴェルディ「オルフェオ」初演 400 年では、世界的なヴィオラ・ダ・ガンバ奏者である J. サヴァールなどのグループとエジンバラ音楽祭などで共演。国内でも東京二期会「ラ・チェネレントラ」ドン・ラミーロ、新国立劇場「ドン・ジョヴァンニ」ドン・オッターヴィオ等のオペラ出演の他、W. サヴァリッシュ指揮による N 響をはじめ読売日響、新日本フィルなど数多くのオーケストラと共演。鈴木雅明氏率いるバッハ・コレギウム・ジャパンとは CD 録音やコンサートでの共演の他、ヨーロッパ・アメリカ・オーストラリア・イスラエル等の海外ツアーにも参加。第 27 回イタリア声楽コンクール、シエナ部門大賞受賞。ブルージュ国際古楽コンクール第 2 位 (声楽最高位)。東京藝術大学教授。二期会会員。



加来 徹 (バリトン) Toru Kaku, Bariton

東京藝術大学大学院修士課程を首席で修了。修了時に大学院アカンサス賞受賞、武藤舞奨学金を受ける。バロックから現代音楽、ミュージカルまで幅広いレパートリーを持つ。これまで多数のオペラに出演し、表現豊かな演唱で観客を魅了。2025 年 2 月 ORCHARD PRODUCE オペラ『ドン・ジョヴァンニ』ではマゼット役で出演し好評を博した。バッハ・コレギウム・ジャパン「マタイ受難曲」の CD に参加する他、2021 年 1 月の『エリアス』ではタイトルロールを務め絶賛された。オペラシティ財団主催リサイタルシリーズ《B→C》では東京、福岡両公演満席の中、10ヶ国語による歌曲プログラムを熱演。2026 年 3 月から 4 月にはオランダバッハ協会の『マタイ受難曲』公演のソリストに抜擢され、オランダ各地での 14 公演に出演。これまでオクタヴィア・レコードより 5 枚の CD をリリースしており、2025 年 4 月に発売された『TORU KAKU Meets SCHMANN』が好評発売中。洗足学園音楽大学非常勤講師。

<今井館聖書講堂のリードオルガン>

1907 年 (明治 40 年)、大阪の香料商・今井樟太郎の遺志により、妻・信子から思想家・内村鑑三に献じられた今井館聖書講堂。内村はこの講堂で聖書講義を行い、生涯にわたり信仰と思想を語り続けました。講堂は移転を重ね、2021 年に文京区本駒込の静かな住宅地に新たな姿で受け継がれています。



1929年製YAMAHA

この講堂には二台のリードオルガンが伝えられています。基督教独立学園教師・榎本梅子寄贈の Nishikawa & Son. 7 ストップ・オルガン (1912 年製造) と伝道者・政池仁寄贈の YAMAHA 7 ストップ・オルガン (1929 年製造)。素朴で温かなリードの響きが、歴史ある講堂の空間にやさしく広がります。

※楽器の状態によって、本公演で使用しない場合がございます。

